

9/28・10/17 宝くじ助成で発電機や音響機器などを整備



中谷校区自主防災組織 [自主防災組織育成助成事業]



恒吉校区公民館 [一般コミュニティ助成事業]

平成30年度コミュニティ助成事業により、中谷校区自主防災組織に発電機やLEDバルーンライト、物置などの備品を、恒吉校区公民館に音響設備などの備品を整備しました。

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している助成事業です。地区公民館組織等が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感と自治意識を盛り上げることを目指し、一般財団法人自治総合センターが活動に直接必要な設備の整備を支援しています。

この備品が今後の公民館行事に積極的に活用され、地域の活性化および自主防災意識の向上につながることを期待されます。

10/28 秋晴れの下で「そお市民体育祭 in たからべ」が開催！



10月28日、城山陸上競技場で「そお市民体育祭 in たからべ」が開催されました。

財部町を中心に市内から延べ2300人が参加。今年の聖火ランナーは、ビーチバレーボールで活躍した曾於高校3年の原田蕉太朗さんと富窪祥也さんのお2人が務めました。

恒例の輪入れ競争で競技がスタート。高齢者によるホルインワンや消防団による障害物競走など、自治会や校区公民館のゼッケンを身に着けた選手や活動服を身にまとった消防団員の元気な声が響き渡りました。財部町内の園児によるダンスやしゃらこども園のミュージカルスポーツが披露されると、子どもたちの頑張る姿に大きな拍手が送られました。また、特別イベントとして、市のPR大使である木場克己さんのKOB A式トレーニングも行われました。

津曲良信実行委員長は「天候にも恵まれ思い出に残る体育祭になった。来年も参加をお願いします」と話しました。

10/13 親子でふれあい！



10月13日、そお生きいき健康センターで子育て支援センター主催の「親子ふれあいデイ」が開催されました。

当日は50組を超える親子が参加。子ども用の洋服やおもちゃを無料で提供するバザーや自宅でも簡単にできる工作体験など盛りだくさんのイベントに参加者は楽しんでいました。

主催したセンターの田中くるみさんは「お父さんも一緒に参加できるように土曜日開催にしました。楽しんでもらえてよかったです」と話しました。

10/3 園児が人権について学習



10月3日、末吉中央公民館で「じんけんってな〜に〜」運動が行なわれました。

この運動は、小学校就学予定者を対象に毎年実施され、今年は172名の子どもたちが参加しました。

参加者は、人権についてのビデオ鑑賞や人権キャラクターとふれあいながら、人権とは何かを学びました。

12月4日から10日までは人権週間です。この期間中には、参加した園児のぬり絵が本庁と各支所で展示されます。

10/17 戦没者追悼式が挙行



10月17日、大隅文化会館で市戦没者追悼式が挙行されました。

式では、献詠や献花が行われ、参列者が戦没者の冥福を祈りました。平和メッセージでは、岩川小学校6年生の中村賢士郎さんが、芙蓉部隊について学んだことや当時の隊員の講演で聞いた戦争体験をもとに戦争の悲惨さと平和の大切さ、そして今の自分に与えられた役割について朗読しました。

参列者は、平和と繁栄の陰には多くの尊い犠牲があったことを後世に伝えたいと、戦火のない平和への誓いを新たにしました。

10/16 日本一の和牛像が登場



10月16日、道の駅すえよしで和牛モニュメントの除幕式が行われました。

昨年9月に宮城県で開催された全国和牛能力共進会で鹿児島県が総合優勝。曾於市からも1頭が出場し、和牛日本一に貢献しました。それを機に更に和牛日本一をアピールするため、高さ約4.4m、長さ約7.4mの日本一の和牛像が建立されました。

和牛像の横には「SOO! モーっと幸せになる鐘」が設置され、SNS等による情報拡散が期待されます。

10/26 合同金婚式に 62 名が参加



10月26日、末吉総合センターで合同金婚式およびひとり金婚者の集いが開催されました。当日は、結婚50年を迎えた29組の金婚者と4名のひとり金婚者が出席し、式典と三遊亭歌之介さんの講演会が行われました。出席者を代表して、川崎安雄さん（大隅町）が「長いようで短い50年でした。これからが大事で健康寿命、労働寿命を延ばし自分でできることは自分でしていきたい。これからは曾於市の発展に努めていきたいです」と謝辞を述べました。

10/20 戊辰の役 150 周年記念事業を開催



10月20日、山形県鶴岡市で大隅町あつみ会と温海おすすみ会が、合同慰霊祭と記念碑の除幕式を行いました。本市（旧大隅町）と鶴岡市（旧温海町）は、戊辰の役が縁で平成8年から交流を開始。平成13年には友好都市姉妹盟約を締結しています。関川薬師神社に設置された記念碑には「先人たちの思いを偲び、未来への架け橋を築く」の文字が刻まれました。出席者は「先人の思いを後世に伝えるために、今後も鶴岡市との交流を深めていきます」と話しました。

11/8 牧之瀬さんが統計で表彰



11月8日、市長室で統計調査功労者の伝達式が行われ、牧之瀬和子さん（大隅町）へ感謝状が贈られました。この感謝状は、経済産業省所管の統計調査に10回以上従事された方に贈られるものです。牧之瀬さんは永年調査員として様々な統計調査に従事され、総務大臣表彰（家計調査調査員）も受賞されています。「協力してくださる皆さんのおかげで調査ができる。今後も体が動くうちは調査員を続けていきます」と話しました。

11/7 地域で美しい景観作り



11月、財部町の飯野公民館付近に色鮮やかなコスモスが咲き誇りました。飯野地区は、平成28年度から農業や農村の維持・保全を支援する多面的機能支払交付金制度を利用し、飯野地区環境保全組織として活動しています。同地区は地域住民が一体となって、春は菜の花、夏はヒマワリ、秋にはコスモスと四季折々の花を植え、自然を満喫できる美しい景観作りに取り組んでいます。

11/3 秋の訪れを告げる弥五郎どん祭り



今年も秋の風物詩「岩川八幡神社の弥五郎どん祭り」が11月3日、岩川八幡神社を中心に盛大に開催されました。

祭りのメインは、午後1時から
の「弥五郎どんの浜下り」。子どもたちに引かれた弥五郎どんが鳥居をくぐり登場すると、大勢の観衆から大歓声があがりました。

巨体を揺らしながら、悠々と市街地を練り歩く弥五郎どん。その姿は力強く岩川の町に秋の訪れを告げていました。



ビクトリーブーケ作り



弥五郎どん祭りの前日、岩川小学校で『花育教室』が行われました。

県スプレー菊研究会が主催し、JAそお鹿児島が花材を提供。末吉町で『花カフェ』を営む東原秋子さんを講師に招き、5年生の児童46人がスプレー菊などを使ったブーケ作りを体験しました。

大隅町でスプレー菊を生産している小湊健一さんは「菊には大切な人と人との繋げる役目がある。菊で気持ちを届けてほしい」と話しました。

作品の一部は、弥五郎どん祭り武道大会のビクトリーブーケとして提供されました。

※ビクトリーブーケとは、オリンピックなどで、勝者にメダルとともに贈られる花束のこと。